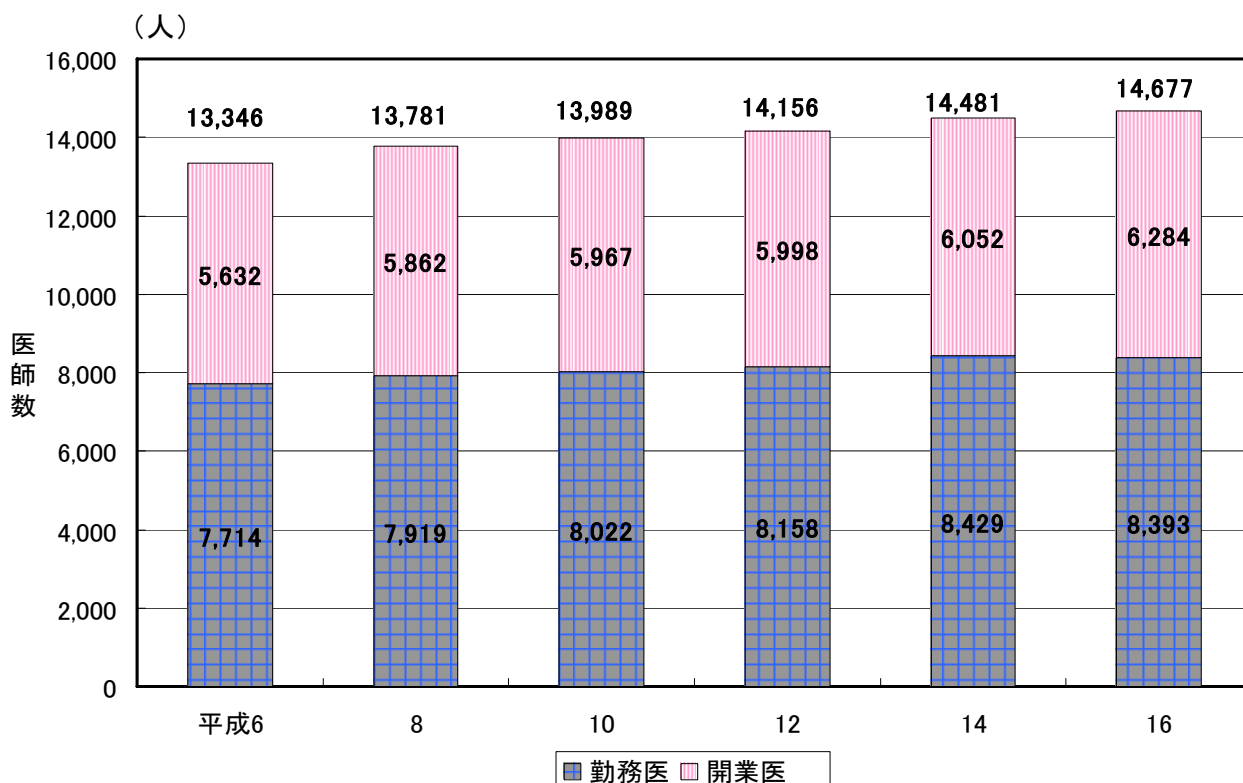


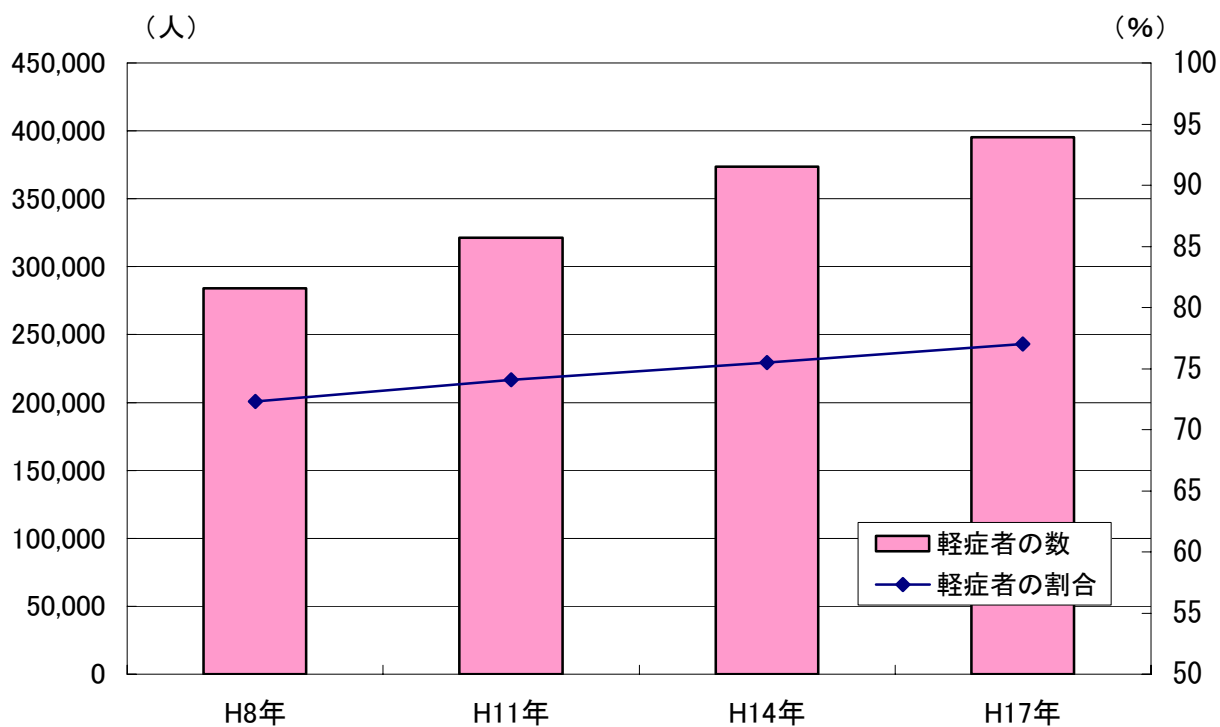
これまでの宿題事項について
—小児医療について②—
(参考資料)

(図表 1) 小児科医数の推移



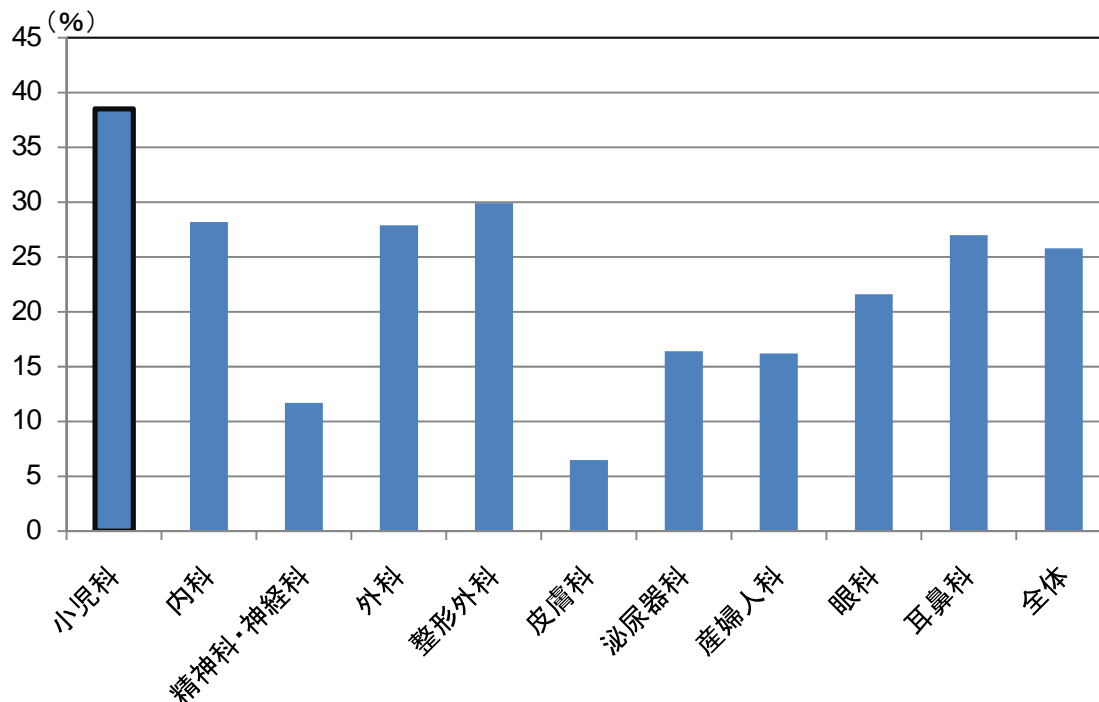
(出典) 厚生労働省統計情報部「医師・歯科医師・薬剤師調査」

(図表 2) 18歳未満の救急搬送人員のうち、軽症者の数と割合



(出典) 総務省消防庁「救急・救助の現況」

(図表 3) 在宅当番医及び休日夜間急患センター、二次・三次救急へ協力している診療所の割合 (主たる診療科別)



厚生労働省保険局医療課調べ

(図表 4)

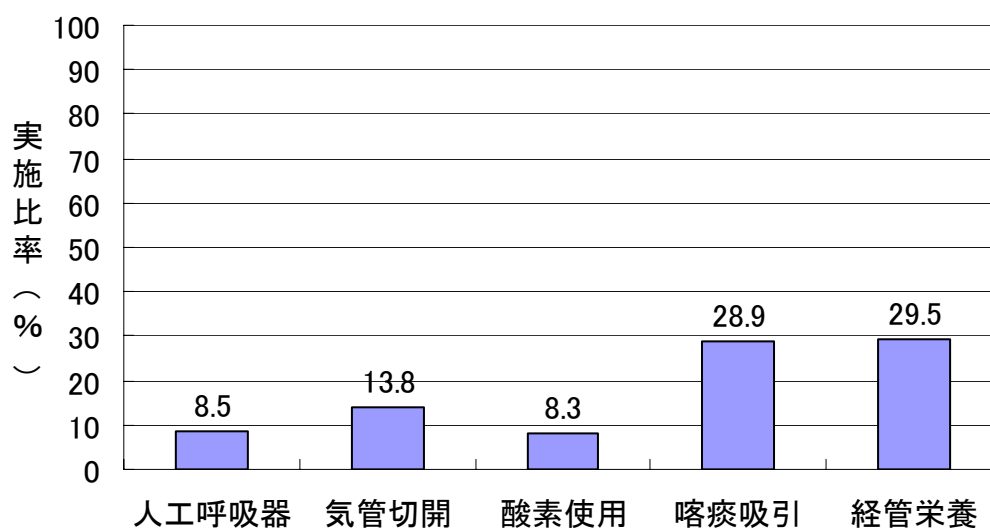
障害者施設等入院基本料を算定する
重症心身障害児施設等の設立者別内訳

設立者	患者数(人)	割合 (%)
1. 国立	9,531	62.1
2. 公立	1,516	9.9
3. 公的	160	1.0
4. 社会保険関係	0	0.0
5. 医療法人	0	0.0
6. 社会福祉法人	4,107	26.7
7. その他の法人・個人	45	0.3
合計	15,359	100.0

※平成 19 年 7 月～8 月難病患者の実態調査

(図表 5)

障害者施設等入院基本料を算定する 重症心身障害者施設等での医療内容



平成 19 年 7 月～8 月難病患者の実態調査

(図表 6)

7 対 1 以上の看護配置を取っている病棟の状況

		病棟数	病床数	患者数	人工呼吸器 使用者数	(割合)
超 重 症 児 病 棟 (者) お け る 割 合	10%未満	39	1676	1194	40	3.4
	10～20%未満	13	525	448	53	11.8
	20～30%未満	9	375	266	41	15.4
	30～40%未満	11	455	356	180	50.6
	40～50%未満	8	335	260	106	40.8
	50～60%未満	4	156	150	51	34.0
	60～70%未満	3	118	109	32	29.4
	70～80%未満	3	105	66	47	71.2
	80%～	1	29	28	25	89.3

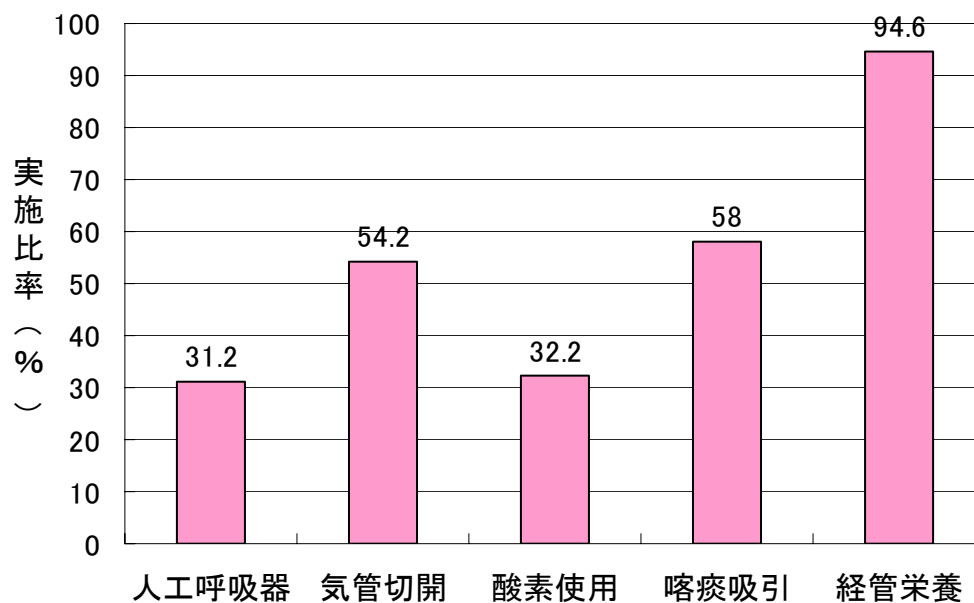
※平成 19 年 7 月～8 月難病患者の実態調査

※10 : 1 入院基本料を算定している病棟の中から集計。

※超重症児等の数、人工呼吸器使用者数について併せて報告があった病棟についてのみ集計

(図表 7)

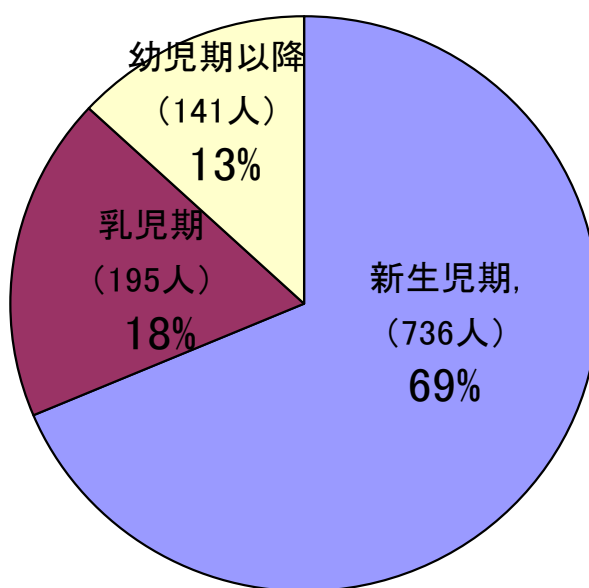
超重症児(者)等における医療内容



日本小児科学会倫理委員会 全国 8 府県のアンケート調査より

(図表 8)

調査対象児の発症時期



日本小児科学会倫理委員会 全国 8 府県のアンケート調査より